

エドウィン・ダンの足跡をたどって

今年には北海道命名150年の周年記念にあたります。

往時発足したばかりの明治新政府は、富国強兵の一環として北海道開拓に力を注ぎ、優秀な人材を海外から招聘して開拓事業の促進を図りました。

この事業では、おなじみのクラーク博士に加え、[エドウィン・ダン](#)獣医師も来道して牧畜の新技术を広め、現在の北海道牧畜の基礎を築きました。

11月のフォーラムでは、この時代の牧畜事業改革に詳しい橋本さんを講師に迎え、「エドウィン・ダン」の人物像や業績等の詳細をお話いただきます。氏のウィットに富んだ講話をお楽しみください。



明治天皇の前で農機具を実現した礼服姿のダン（絵葉書から）



略 歴

1951年：岩内高校卒

1977年：北海道大学獣医学部教授

1996年：北海道大学名誉教授

2004年：日本獣医学会越智賞受賞

・所属組織：札幌彫刻美術館友の会（会長）

・趣味：博物学、文明論、美術館・博物館巡り、アフリカ彫刻収集等

NPO法人札幌シニアネット